

2020.01

Vol.029

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター  
働きませんか、健康で、たのしく

ぎずな

賀春



市長と理事長との新春対談  
センター事業実績報告  
めざせ会員100万人  
つくばに美味しいハムあり  
各地区活動レポート

## 〈新春対談〉

### 就業先の確保を

#### 対談

#### 五十嵐市長・宇都宮理事長

〈司会〉 あけましておめでとうござい  
ます。日頃から多大なご協力とご支援  
を賜り、厚くお礼申し上げます。それ  
ではよろしくお願い致します。

〈宇都宮理事長〉シルバー人材センター  
は現在、会員の拡大と就業先の確保に  
力を入れております。11月19日、県シ  
ルバー人材センター連合会（以下県シ  
連）との共催でホテルグランド東雲に  
おいて全国のシルバー会員100万人  
達成のためのセミナーと羽田美智子さ  
んによる講演を行い、223名の方に  
ご参加いただきました。現在の会員数  
は721名、女性会員が増えています。  
令和22年度までに880名にしたいと  
思っています。

〈五十嵐市長〉就業率はどのくらいで  
どのような職場への就業希望が多いで  
しょうか。

〈理事長〉8割位になります。希望と  
しては公共施設の受付業務等が多く  
なっています。女性の場合、トイレ掃  
除などが多いのですが、銀行の受付業

務なども探しているところですよ。

〈市長〉子育て支援センター、自転車  
修理などもとても価値ある活動で評判  
がよいですよね。

〈理事長〉子育て支援事業は順調になっ  
てきておりますが、今以上の受け入れ  
は場所の関係で難しいようです。自転  
車事業も筑波大を含めて順調です。

〈市長〉子育て支援は老人福祉センター  
で実施していただいています。場所  
からみると確かに限界はありますが、  
シルバー会員の平均年齢はどのくらい  
ですか。

〈理事長〉72・5歳程度で60代の会員  
が少なくなっています。

〈市長〉皆さんの得意な仕事があれば  
いいですね。

〈理事長〉よろしく申し上げます。現在、  
シルバー会員100万人達成のための  
事業の一環としてラッピングバスを2  
台運行しています。いろいろな人がセ  
ミナーにも来てくれました。

〈市長〉入会のきっかけになってくれ  
ればいいですね。

〈副理事長〉市から委託されている、  
高齢者の布団丸洗い乾燥集配業務など  
も厳密に言えば運送業の規制を受ける  
ことになってしまいます。

〈市長〉国の規制もいろいろあり難し  
さはありますね。

〈理事〉小さな公園管理、あるいは運  
動場などがある大きな公園の管理を請  
け負った業者に対し、施設利用の受付  
管理業務など高齢者が対応できる仕事  
はシルバーを使うよう指導して頂けれ  
ば就業の拡大につながるので検討して  
ほしいのですが。

〈市長〉担当課とも相談してみます。

〈局長〉適正就業の一環として請負か  
ら派遣契約にするよう国の指導もあり  
ます。最低賃金の適用や手数料が増額  
になります。新年度の契約から派遣  
契約へ変更することになって継続し  
てシルバー人材センターと契約をお願  
いします。

〈市長〉調査をしてみます。地域のた  
めにご活躍いただきたいです。

〈理事長〉これからも地域のために頑  
張ります。本  
日はお忙しい  
中時間を割い  
て頂きありが  
とうございま  
した。今後と  
もよろしくお  
願い致します。



新春対談後の記念撮影

## センター事業実績報告

令和1年度の上半期が経過して早くも3ヶ月になりました。センターの上半期の運営状況について概況を報告致します。上半期における受注件数、就業延人員、契約金額などすべての面で平成30年度に比較して大きく減少しました(表1)。その減少量は、平成29年度と平成30年度の大幅な減少と比べ、少なくなっています。これを、29年度が継続しています。これを、29年度を含めた3年間で見ると、29年度と比べた減少量は、それぞれ77・6%、74・5%、78・6%と全て20%以上の大幅な減少となっています。

表2の受注状況によると、大幅な減少となっている受注先は、民間と一般家庭ですが、民間の減少は受注件数で70・0%、契約金額では60・1%と極めて大きな低下となっています。反面、公共、独自事業は受注件数では減少していませんが、契約金額の単価上昇などによってほぼ横ばいとなっています。受注状況変動については、民間の場合、剪定や草刈りなど屋外業務が主体で、30年度の低下は、6月末の梅雨明け、7月、8月の猛暑などの異常気象

によって日照下での剪定、草刈り作業が熱中症対策で作業を中止するなどによる作業スケジュールに遅れが生じた結果と考えられ、秋になって多少の改善となりました。しかし、今年度は、作業に影響するような極端な異常気象はなく、低下の原因として考えにくく、作業者の高齢化、事故の多発、高木の剪定の中  
止など構  
造的な問  
題、ある  
いは民間  
事業の  
受注で委  
託、請負  
事業から  
派遣への  
移行など  
も受注の  
減少を大  
きくして  
いる一因  
と考えら  
れます。  
いずれに  
しても、  
秋以降に

平成31年度4月～9月までの就業状況

年度	会員数(人)			受注件数(件)	就業延人員(人)	契約金額(千円)	就業率(%)
	男	女	合計				
31	506	210	716	2,183	21,605	136,370	54.3
30	503	184	682	2,491	23,610	146,944	63.3
29	474	168	642	2,814	29,014	173,471	73.5

平成31年度4月～9月までの受注状況

受注先	種別	31年度実績	30年度実績	29年度実績
公共	件数 <sup>注1)</sup>	328	382	392
	金額 <sup>注2)</sup>	43,930	43,295	43,658
民間	件数	376	448	538
	金額	47,494	56,564	78,364
一般家庭	件数	1,467	1,649	1,872
	金額	37,735	40,330	45,976
独自事業	件数	12	12	12
	金額	7,211	6,755	5,472
合計	件数	2,183	2,491	2,814
	金額	136,370	146,944	173,471

注)1:件、注)2:千円

なって回復の兆しがあるかどうか注目し、そして低下の原因を根本的に見直しが求められます。  
理事会は、就業状況検討会議を設置して原因を特定し、対策を検討することになっていきますが、それにも増して早急な対応が講ずる必要があります。

## めざせ会員百万人

### 羽田美智子さんの講演

新規シルバー会員獲得のためのセミナーが、2019年11月19日、つくば市内のホテルグランド東雲で開催されました。これには今年七月に市内で開かれた「女性の集い」からの流れがあります。主催は(社)茨城県シルバー人材センター連合会(県シ連)、共催は(社)つくば市シルバー人材センター。セミナーは、厚生労働省の委託事業である高齢者活躍人材確保育成事業の一環として行われたもので、増える高齢者に、センターに関心をもちつつかけをつくり、入会していただければというシルバー

成事業の一環として行われたもので、増える高齢者に、センターに関心をもちつつかけをつくり、入会していただければというシルバー



会員による就業体験を語るトークショー

側の願いがあります。

当日の一般来場者が172人、県シ連やセンターから51人、合計223人が一堂に会する盛会となりましたが、聴衆の大半が女性です。イベントの第二部が女優羽田美智子さんによる講演「人生100年時代 これからの人生 あなたはどのような生き方をされますか?」

来場のみなさんのお目当ては、もちろん常総市出身の羽田さん。NHK朝ドラ「ひよっこ」で、茨城県民に大反響を巻き起こしました。講演の八割が健康に関するもので、五十

二歳説とか、風船を使った健康体操など、笑い声が絶えなかつた楽しいひと時でした。



セミナー後の記念撮影 (中央の女性が羽田美智子さん)

### ◆やまびこ◆

#### 「ながら運転」厳罰化

スマートフォンなどを使用しながら車を走行させる「ながら運転」について、違反点数と反則金を引き上げ、懲役刑も重くするなど厳罰化した改正道交法が令和元年12月1日、施行されました。長年、被害者遺族らが罰則強化を求めてきたものです。スマホをもつ高齢者のみなさんも増えましたが、「ながら運転」は絶対に止めましょう。事故は起こしても、事故に遭っても、みんなが不幸になります。

### 悠悠会員制度スタート

11月の理事会で、特別会員としての新たな制度が決まりました。満70歳以上で、センター会員として5年以上在籍され、就業をせず、各種行事や地域活動への参加等により、生きがいの充実や社会参加を希望する会員が対象です。詳細は、事務局へお問い合わせください。

## つくばにおいしいハムあり!

研究学園都市として全国的な知名度を誇るつくば市ですが、もう一つみなさんにご紹介したいのは、有限会社筑波ハムのことです。同社は、素材の良さと、安心、安全な食品として、高い信頼と評価を得ている地元産「筑波ハム」などを製造販売しています。この自社ブランドを育て上げた創立者の中野正吾会長にお伺いしました。

中野さんは昭和八年生まれ、生粋のつくば人です。同社直営の「レストラン自然味工房」がある平塚地区は、子どものころは畑作地帯で、養蚕と麦作でやっと生計を立てるくらい貧しく、高校への進学も断念せざるを得ませんでした。戦後、農家を引き継ぎ、育苗の技術改善による稲作の安定化と収量の増加に取り組み、昭和三十年代からは、国の農業振興政策4Hクラブで学んだ知識をもとに養豚事業を開始して、軌道に乗せるところにまでこぎつけました。しかし、高度成長期では、豚肉の価格が低迷したので、安定した養豚事業を模索して講習会などに通い、その後、飼育した豚の付加価値を高め、「ハムの製造から販売」まで一

貫した経営方法を考えました。だが、知識も技術もなく、さらに保健所の食品製造許可取得が壁となり、一農家にとって重荷でした。

交流中の研究者から、当時千葉にあった農林水産省畜産試験場の加工部を紹介され、その講習会に通ううちにハムの製造技術を学ぶ機会を得たのです。昭和五十年代後半、研究機関のつくば移転で、相談も研究もはかどるようになります。そのころ始まった一村一品運動が後押しとなり、その研究者が退官後に顧問に就任していただいたおかげで、製造技術が改善され、やっとな保健所の製造許可を取得できました。販売は、農林水産省の生協と土浦市にあった西友に取り扱ってもらえたので、筑波ハムの売り上げが徐々に伸びてきました。

原料となる豚肉の美味しさが加工の品の味となり、豚の飼育にも力を入れ、母豚、牡豚



自社製品を持つ中野会長

とも茨城県養豚試験場での改良種3種を交配し、独自の配合飼料で飼育し、飼育期間も通常より長くするなど、肉質にはいままも徹底的にこだわっています。事業は着実に伸びました。新たな展開として、平成二年に「レストラン自然味工房」の営業を開始し、昔からの伝統技法による燻製の風味あるハム、飲むナチュラルヨーグルトなどを開発、販売しています。バブル崩壊の波も乗り越え、農家に豚の飼育依頼、インターネット販売や営業活動により、関西方面にまで美味しい「筑波ハム」の販路が拡大できました。

平成22年、国から農商工連携等事業計画の認定を受け、ハムの製造工場と筑波ハム直売所「つくば陣屋」を立ち上げ、経営の拡大を図った矢先に、東日本大震災でまた打撃を受けましたが、これも持ち前の経営努力と技術改革で克服します。さらに肉質の良い



ハムの調整作業

豚の遺伝子が存在することを突き止めて、選別した「つくば豚」を育種し、製造ハムの高品質化と均質化を図る



桜のチップによる燻製中のハム

ことで、再び経営を安定させることができました。このような努力が実を結び、2018年度は製造に要した頭数800頭、年商3・5億円の売り上げ達成まで回復させたのです。中野会長は、絶えず技術開発や販路開拓に心をくだき、最近ではハムの手作り教室を開いて地域とのつながりを深めるなど、その研究心は今も進化しています。

五年後の目標について、「九十三歳・・さらなる味と品質で、筑波ハムのブランド名を高め、みなさんに美味しく食べていただくとともに、経営を安定化させて後継者に引継ぎ、従業員の喜ぶ顔を見たい!」とのこと。

つくばに美味しいハムあり、こだわりのヨーグルトあり。

<http://www.tsukubaham.co.jp>

## 新入会員研修会の実施

今年、4月～9月にセンターに入会した新会員の研修会を10月31日、午前と午後の2回実施しました。研修会は、女性外部講師による「接客・接客」を主題に行い53名が参加しました。多くの事例をもとに就業に当たっての心構えや体調管理などの講話があり、受講者から好評でした。講習の冒頭で総務部よりセンターにおける最近の事故やトラブルの一例が話され、作業事故や就業先でのトラブルが多いと、ちよつとしたことがセンター全体の信頼の失墜につながるのので注意するようアドバイスがありました。



研修会風景

## 草刈りの技術講習会および

### 技能検定試験

今年度の草刈り技能講習と技能検定試験が10月24日、皆畑公園で開催されました。講習会には74名が出席し、刈

り払い機の保守点検、取扱いおよび安全作業の講習を受け、講習後に行われた技能検定試験に30名が挑みました。

受講者は数組に分かれ、講師の説明を聞き、疑問点を質問していました。技能検定は、刈り払い機であらかじめ設定された面積の雑草を刈り取り、安全作業への配慮、所要時間、刈り取りが整然としているかなどが厳正に検査され、合否が決まります。草刈り技能には3クラスあり、受験者はクラス入りと各級への昇級を目標として真剣に作業を行っていました。

検定試験の結果はこの3月に発表されます。



草刈り検定風景

## 各地区の活動レポート

### 【桜地区】

#### 〈なでしこ桜の開催〉

11月15日、エキスポセンター内のレストラン「ほしまるカフェ」において桜地区の女性の集い「なでしこ桜」の

今年度3回目の会合がありました。会合には7名の女性会員と正副地区長がオブザーバーとして出席し、「なでしこ桜」としての活動、シルバー人材センターの会員の就業の現状、女性に適した就業についての情報および意見交換が行われました。「なでしこ桜」の今年度の行事として令和2年1月に「なでしこ桜歩こう会」として遊歩道の散策を行うことが決まりました。



会合中のなでしこ桜のメンバー

### 〈3回目のアダプト・ア・パーク〉

11月24日、反町公園で今年度3回目のアダプト・ア・パークが行われ、あいにくの雨の中9名の参加がありました。ゴミ、缶類や落ち葉の回収などの清掃終了後、近くのレストランで懇親会を行い、地区役員を中心にセンターの情報交換、新たに入会した会員の自己紹介と11月15日に行われた「なでしこ桜」で話し合われた内容の紹介がありました。

### 【豊里地区】

11月8日、豊里交流センターで「認

知症講座」が初めて開催されました。講習会は、市の地域支援包括課の推進員4名から認知症を引き起こす原因、症状、検査方法や認知症にならない生活などの話のあと、血管年齢判別測定の見学が行われました。



認知症講座を受ける会員

今回の参加者は5名と少なかつたのですが、これからもこのような講習会を開いてほしいとの意見がありました。

## 各地区の交流活動レポート

木々の葉が色づいた秋たけなわの11月、3地区で会員の交流促進と親睦を目的に、筑波山登山、つくば周辺の遊歩道や遺跡の散策、房総方面へのバスツアーが行われました。いずれの地区のプランとも参加者相互の会話が弾み、親睦が深まり、楽しい一日となりました。

### 【谷田部地区】

#### 〈予科練ゆかりのみちと〉

11月7日、霞ヶ浦湖畔ふれあいの道 霞ヶ浦航空隊の遺跡〉見学

を散策し、「予科練のゆかりのみち」、「霞ヶ浦海軍航空隊の遺跡」などを見学しました。参加者は男性6名、女性9名が参加し、遊歩道での散策、公園での昼食での会員の会話、ピアノの伴奏による合唱などで交流を深めました。



散歩を楽しむ参加者

### 【豊里地区】

#### 〈房総への日帰りバスツアー〉

11月9日、房総の鹿野山神野寺、酒造蔵、はちみつ工房、東京ドイツ村などの見学のコースにしたバスツアーを行いました。ツアーには、男性4名、女性6名が参加し、バスの中、それぞれの休憩場での会員同士の会話も弾み、親睦が一段と深まりました。夕暮れの東京ドイツ村のLED300万個によるイルミネーションの景観は見事でした。



ツアー参加者による記念撮影

### 【大穂地区】

#### 〈筑波山登山〉

11月13日、勾配が緩やかな初心者向

けの迎場コースから登山と下山をしました。登山には男性4名、女性5名が参加しました。紅葉も真っ盛り、県民の日でもあり県内の方が多くいました。筑波山神社の参拝、頂上での昼食、下山後の食事会で交流と親睦が深まりました。



筑波山登山による記念撮影

## シルバー啓発キャンペーン

10月1日、シルバー人材センター会員の増加のための啓発キャンペーンの一環としてウェットティッシュペーパーの配布を「つくば」、「研究学園」、「万博記念」、「みどりの」の各駅前で朝の出勤時間（6時半〜7時半）に行いました。このキャンペーンは、県シルバー人材センター連合会が主催したもので、県内の全センターが参加し、つくばセンターは広報委員会が中心になって実施しました。



駅前でティッシュを配る会員

## 科擧試験地獄と格差

### 科擧の功罪

入学試験・入社試験などの合否は、本人の将来を左右するほどの影響力があります。昔、日本が参考とした中国の官僚統治の制度で、日本では導入されなかった官吏登用制度が「科擧」です。士庶に官吏の道が開かれたものとして、最初の理念はよかったです。が、のちには弊害も大きくなりました。1400年前、隋の時代に始まり、清末まで続き、君主独裁と中央集権に役立てられたこの科擧は、時代により科目が違ったりしますが、地方（郷試、解読試）・中央（会試、省試）に加え、宋代には天子自らが試験を行う殿試が設けられました。難関試験を突破して、首尾よくエリート官僚コースに乗れば、地位も名誉も一族の栄華までもが手に入るのです。しかし歳月と費用も相当にかかり、富裕階層の子弟には有利でしたが、貧しい層とは大きな格差が生じたのです。また古典の学習がほとんどで、自然科学や技術などの実務的能力が軽視され、変革と進歩には無関心な官僚が多く輩出したといわれます。日本が、明治維新以降、積極的に西欧

の制度に学んだ経緯と比較すると興味深いものがあります。

## ランタンに灯がともる

市内の小中学校の生徒たちが中心になって、使い終わったペットボトルを再利用して制作したランタンにロウソクの灯をともし、おなじみのイベント「ランタンアート2019」が、昨年12月、センター広場を中心に行われました。エスニックな食べ物のお店あり、また留学生たちによる歌や民族舞踊などもあり、つくば市らしい二日間でした。



ランタンフェスティバルの風景

### 表紙の説明

写真は、2019年11月初、市内荳崎の小川に飛来しはじめた野鳥です。いつもの研究所に問い合せたらカルガモとのこと。この周辺でも繁殖するので一年中見られますが、秋冬には集まって川や池で群れが見られます。白っぽい顔と、嘴の先の黄色が特徴です。